

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。
なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査（以下「全国学調」）の算数では、図形の面積に関する設問で、知識・技能を問う問題だけでなく、思考・判断・表現を求められる問題においても全国平均を上回る正答率でした。本校では、昨年度までの研究で、算数を中心に「深い学び」を目指した学び合いの授業づくりを実践してきました。教科の特質に応じた見方・考え方を働かせるための学習過程を構想したり、互いの考えを聞き合う場を設定したりすることを大切にしながら指導を継続することで培った力が、結果に表れてきたものと思われまます。

質問紙調査の結果から、「家で、自分で計画を立てて勉強している」の設問では、「している」と回答した児童は約38%と、令和2年度の岡山学力アセスの調査と比較し、6ポイント上昇しました。これは、「家庭学習の手引き」の活用を促すための改良や保護者の方の関わりが結果に反映されたものと思われまます。

課題と対応

国語・算数ともに、記述式で解答する設問の無解答率が全国平均を上回りました。正答率では全国平均を上回るような問題においても無解答率が高かったことから、授業の中に、落ち着いて最後までやり遂げようとする自分なりの解決に向かうための試行錯誤の場の設定が大切であると思われまます。

質問紙調査の結果からは、「授業でICT機器を使用した」「ICT機器を友達と意見を交換したり調べたりするために使用した」と回答した児童が全国平均を下回っていることが分かりました。ICT端末の導入を機と捉え、児童が効率的・効果的に学習が進められる場面を精査しながら、ICT機器を積極的に活用していきたいと考えています。

【保護者・学区の方へのお願い】

全国学調の結果から、毎日朝食を食べたり就寝時刻が定まったりして、良い生活習慣が身に付いてきていることが分かります。テレビゲーム（コンピュータ・携帯・スマートフォンも含む）等の時間も短めで、メディアと距離を置いて生活できています。しかし、起床時刻が定まっていない児童が多いので、そこは改善の余地があると思われまます。よりよい生活習慣を身に付けることは、児童の更なる自立につながると考えられます。児童のよりよい生活習慣の確立のための活動を学校と家庭とで連携して進められるように、一層のご協力をお願いいたします。

学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	登場人物の行動を叙述に即して読み取っている。
	社会	方位を表す記号を理解している。
	算数	□を使って立式できる。
	理科	観察カードに記録された内容を読み取り、まとめることができる。
	学習状況	授業で学習した内容をよりくわしく調べてみたいと思う傾向がみられる。
第5学年	国語	場面の様子を叙述を基に捉えている。
	社会	ごみの減量について、自分の生活と関連付けた対処の仕方を考え、表現している。
	算数	円の性質を理解している。
	理科	空気はあたためられると体積が大きくなり、冷やされると体積が小さくなることを理解している。
	学習状況	授業で学習した内容をよりくわしく調べてみたいと思う傾向がみられる。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	漢字のへんとつくりの構成の理解に課題がある。	国語では、他にローマ字のつづり方に課題が見られた。漢字の構成やローマ字表記は、書くこと以外にも視覚的に捉えることができるように、活動を工夫したい。算数では、さまざまな単位のスケールを実感できるように、測定したり計量したりする場面を意図的に設けたい。社会や理科は、地図や図などから得た情報をもとに思考・表現する力を育てるために、資料を読み取ったり考えを深めたりする学習場を増やしていきたい。 学習状況については、タブレットを用いることで効率的・効果的に学習が進められる場面を精査しながらICTの活用を進めていきたい。
	社会	地図から情報を読み取ることに課題がある。	
	算数	時間や長さ・かさ・重さを表す単位の理解に課題がある。	
	理科	こん虫の育ち方の理解や資料をもとにした居場所の推測に課題がある。	
	学習状況	前の学年までに受けた授業で、コンピュータなどのICTの使用が十分ではない。	
第5学年	国語	文の構成についての理解に課題がある。	国語や算数の課題から、基礎・基本の定着を図るための時間確保が必要だと考える。朝学習や授業の短時間、プリントやタブレットを活用し、スモールステップで習熟を図りたい。社会の課題である都道府県の理解には、クイズやパズルで視覚的にとらえる学習が有効であると考えられる。個人やグループでできる活動を取り入れたい。理科では、実験道具の正しい使い方が身に付くよう、既習であってもその都度使い方の確認を行うようにしたい。 学習状況については、子どもの意欲が継続するような家庭学習の内容になるよう、発達段階に応じた課題設定についても検討していきたい。
	社会	都道府県の位置や名称、主な特産物などの理解に課題がある。	
	算数	計算や概数で表すことに課題がある。	
	理科	虫めがねの使い方の習得に課題がある。	
	学習状況	学校の授業時間以外に、家庭学習に費やす時間が短い傾向が見られる。	

【保護者・学区の方へのお願い】

知識や技能の定着には繰り返しが重要です。授業で学んだことを自ら試してみることで、習熟が図られるとともに自信につながります。宿題は音読、漢字、計算を中心に、その日に習得したことを確実にするための大切な機会ですので、丁寧にきちんとやり切る習慣が身に付きますよう、ご家庭での声かけをよろしくお願いいたします。また、「家庭学習の手引き」でお示ししている家庭学習の目安の時間を目標に、お子さんには、自主学習を勧めています。興味あることを選択し探究していくことで、生涯にわたる学びに向かう力が養われるようにと考えています。